

休校と子どもたち

校長 榮 秀之



連休が明けて学校に来ると、池の近くに、野いばらの白い花がたくさん咲いていました。(写真) 子どもたちに、清楚に、そしてたくましく育ててほしいという願いを込めて校章のデザインになった花です。先の見えない不確定な状況が続いていますが、何よりも子どもたちの心と身体が健康でいられることを願っています。

1日4時間(4コマ)の学習

学校と同じように、家でも学習する時間をきちんと決めて勉強することになっています。1時間ごとに示している「めあて」や「学習の進め方」に沿って取り組むようお願いいたします。課題によっては、解答例も付けることにしましたので、確認しながら進めてください。

学校からの課題以外にも、子どもが自ら課題やテーマを決めて取り組むのも素晴らしいことだと思います。

新しい教科書に即した課題なので、よく分からない学習内容もあると思います。自分で取り組んで、「ここは自分でもできた。」「ここは自信がない、分からない。」と振り返っておくことも大切です。学校が再開したら、子どもたちの習熟の状況をつかみながら、きちんとやり直しをしますので、安心してください。

子どものストレス・不安

3月から続いている休校で、子どもたちの生活は大きく変わっています。密集、密接、密閉を避ける日常生活は、様々な制約を受け子どもの内面にも影響を及ぼしていることと思います。「友達に会えない」「思い切り遊べない」など、子どもが抱えている不安や悩みに寄り添って、ご家庭でも子どもと一緒にストレスの解消方法を見つけられるようお願いいたします。

必要に応じて、カウンセラー等による支援をさせていただきますので、いつでもご相談ください。

子どもたちの安心につながるよう、学級担任から子どもへの電話連絡を実施いたします。短い時間ですが、会話を通して担任と心の交流ができることを望んでいます。詳しくは、学校ホームページの文書をご参照ください。

今後、いつ、どのような形で学校が再開できるのか未知なことが多い中ですが、三密をできる限り避けた学習や学校生活の在り方、授業時数の確保、行事の見直し、カリキュラムの見直しや工夫等について検討をしています。学校再開の見通しが立ったところで改めてお知らせをいたします。

先日、保護者と地域の方から、非常にたくさんのマスクの寄付をいただきました。心から感謝を申し上げます。学校再開時に、有効に活用させていただきます。